

生産局長賞（団体の部）

捕獲した野生鳥獣の減量化技術を開発・普及

枝幸町・ホクレン農業総合研究所

（代表者：枝幸町長 荒屋 吉雄）

北海道枝幸町

主な取組

重要課題であるエゾシカ等の捕獲獣の処理として、極めて低コストな方法であり、他の地域に普及できる減量化技術を開発（エゾシカなど有害鳥獣の枝幸式発酵減量化法）。

この方法により、捕獲したエゾシカ等の鳥獣を減量化するために必要となる資材は、家畜ふん尿（牛糞）及び木質チップのみ。好気性発酵を促すために1週間から10日ごとに切り返すだけで減量化が可能であり、省力化・低コスト化に成功。

当該技術は、枝幸町のホームページにもマニュアルとして掲載し、積極的に技術を紹介。この技術が普及されることにより、有害鳥獣の捕獲活動が一層促進され、野生鳥獣による農業被害の減少に繋がることを期待。